

工事事務(速報)の情報提供について

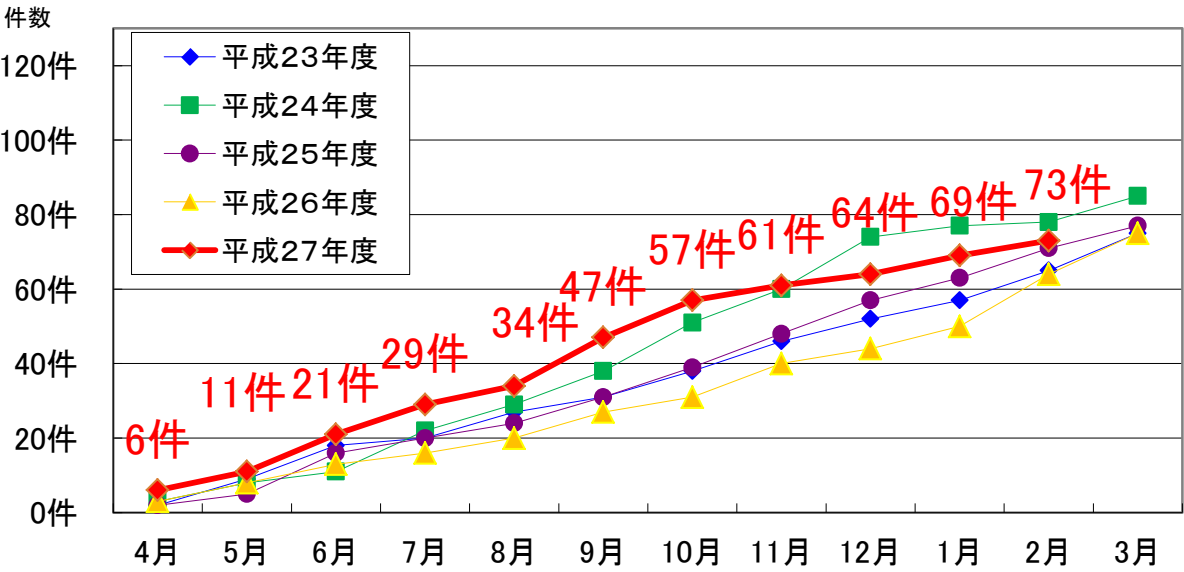
工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。
各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。
本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H28.2.29現在)

	2月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成27年度(今年度)	7件	73件	4人	23人
平成26年度(昨年度)	4件	75件	4人	29人

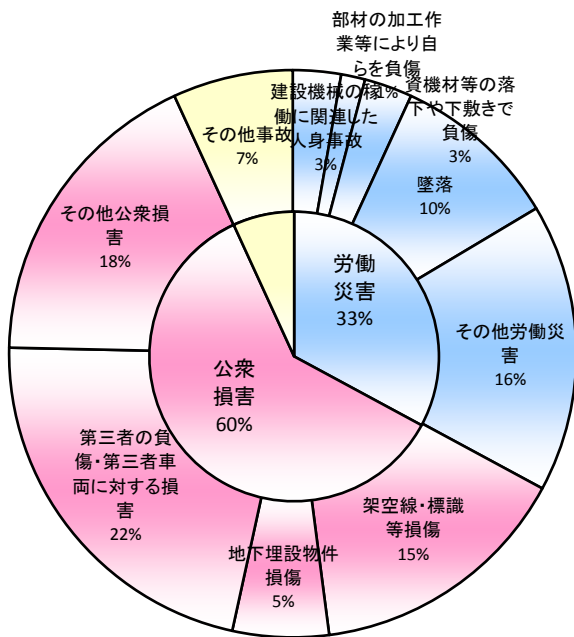
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。
注2) 「1月発生件数」は、2/1～2/29の間に起きた件数。(月毎分)
注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)
注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。
注5) 平成27年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度	累計 2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度	累計 3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度	累計 2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度	累計 3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	40件 (9件)	44件 (4件)	50件 (6件)	64件 (14件)	75件 (11件)
平成27年度	累計 6件 (6件)	11件 (5件)	21件 (10件)	29件 (8件)	34件 (5件)	47件 (13件)	57件 (10件)	61件 (4件)	64件 (3件)	69件 (5件)	73件 (4件)	

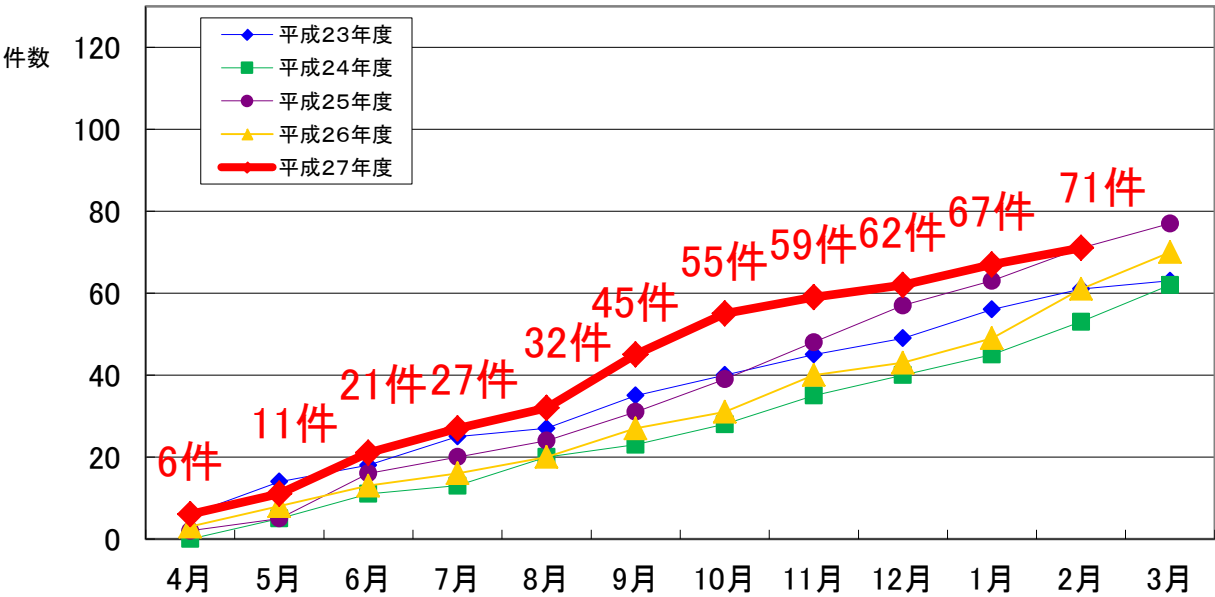
●平成27年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H25	H26	H27	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	2	12
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	2	1	8
	資機材等の落下や下敷きで負傷	6	4	2	12
	墜落	6	6	7	19
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	6	14	12	32
小計		30	30	24	84
公衆損害	架空線・標識等損傷	5	8	11	24
	地下埋設物件損傷	12	7	4	23
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	16	21	16	53
	その他公衆損害	10	8	13	31
	小計	43	44	44	131
その他事故		4	1	5	10
計		77	75	73	225

…H27年度重点的安全対策項目

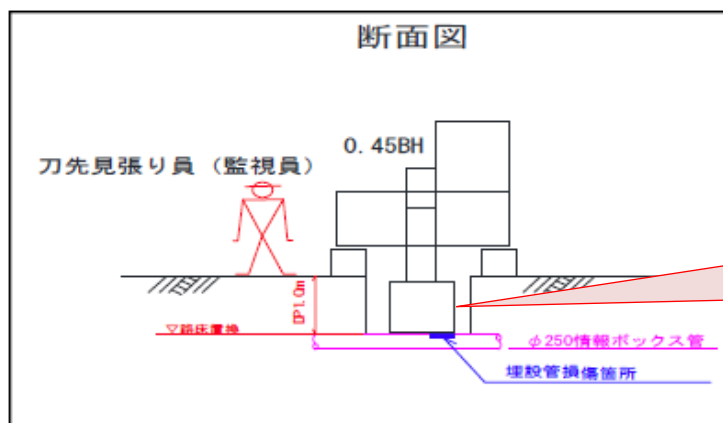
(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度 累計(月毎)	0件(0件)	5件(5件)	11件(6件)	13件(2件)	20件(7件)	23件(3件)	28件(5件)	35件(7件)	40件(5件)	45件(5件)	53件(8件)	62件(9件)
平成24年度 累計(月毎)	2件(2件)	6件(4件)	8件(2件)	18件(10件)	23件(5件)	31件(8件)	42件(11件)	50件(8件)	63件(13件)	66件(3件)	67件(1件)	74件(7件)
平成25年度 累計(月毎)	2件(2件)	5件(3件)	16件(11件)	20件(4件)	24件(4件)	31件(7件)	39件(8件)	48件(9件)	57件(9件)	63件(6件)	71件(8件)	77件(6件)
平成26年度 累計(月毎)	3件(3件)	8件(5件)	13件(5件)	16件(3件)	20件(4件)	27件(7件)	31件(4件)	40件(9件)	43件(3件)	49件(6件)	61件(12件)	70件(9件)
平成27年度 累計(月毎)	6件(6件)	11件(5件)	21件(10件)	27件(6件)	32件(5件)	45件(13件)	55件(10件)	59件(4件)	62件(3件)	67件(5件)	71件(4件)	

発生日時	平成 28 年 2 月 3 日 (水) 22 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	情報ボックスのボディ管・さや管等損傷
事故概要	バックホウによる掘削中に情報ボックスの本体管に接触し、ボディー管・さや管を損傷させたもの			
	公衆損害－地下埋設物損傷			

事故発生状況



保護砂がないことからバックホウにて慎重に掘削していた



- ・既設舗装版(15cm)の撤去後、路床置換を行うため掘削作業を行っていた際、情報ボックスボディ管(φ250)及び内部のさや管(φ50)1本を損傷
- ・事前に埋設物調書で埋設管の位置を確認していた
- ・埋設管の約10cm上付近まで、通常の掘削作業を行ったが、保護砂が確認できなかったためバックホウで慎重に掘削していた

【事故発生原因】

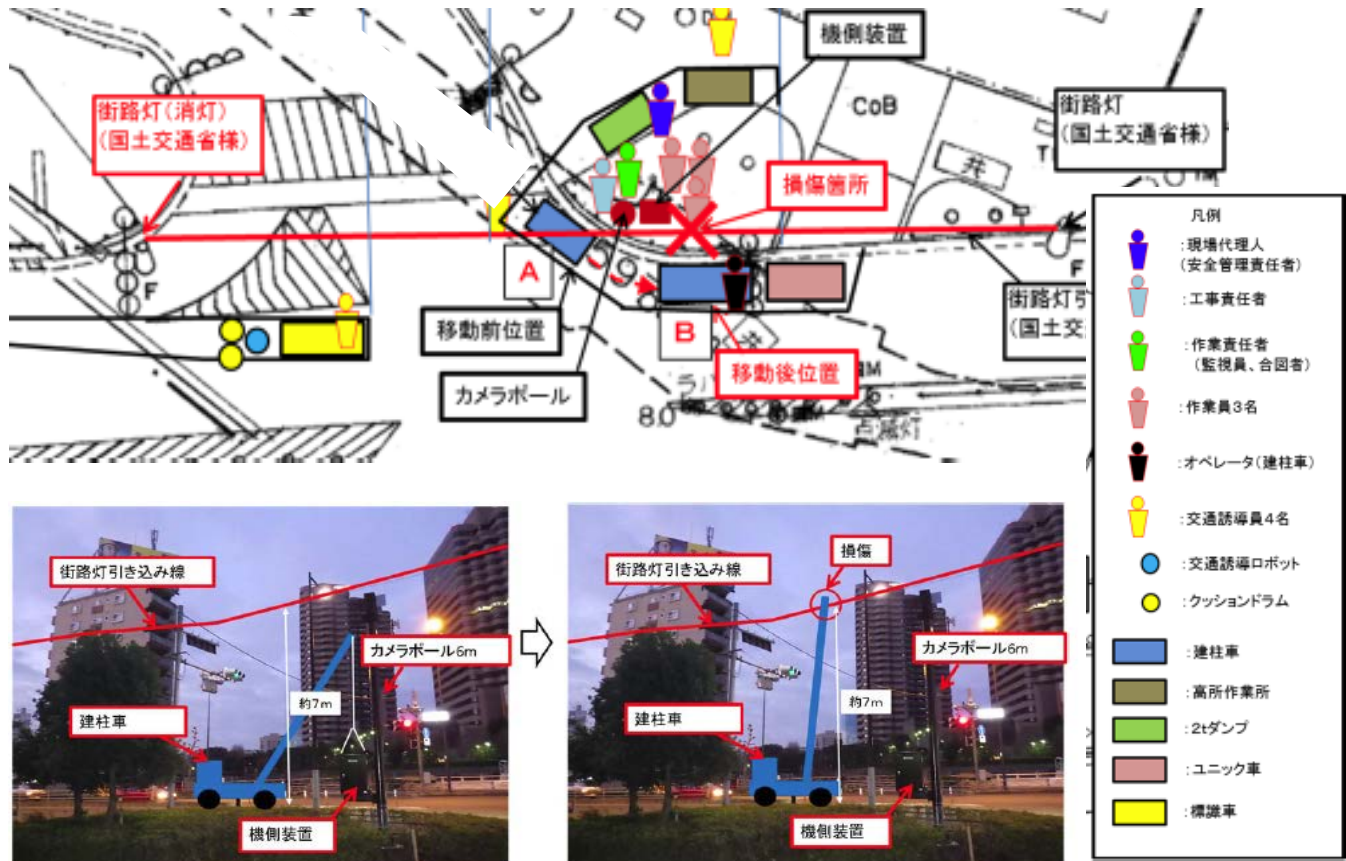
- ・事前の試掘などの地下埋設物に対する安全管理が十分に実施されていない。など

【事故防止のポイント】

- ・作業前に試掘、管理者の立会などの地下埋設物に対する安全管理を徹底する。など

発生日時	平成 28 年 2 月 4 日 (木) 4 時 40 分				
工事情報	道路系事務所 電気設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	街路灯1基不灯	
事故概要	建柱車のブームを格納する際に街路灯(国道管理)間を繋いでいる架空線と接触し損傷				
	公衆損害－架空線・標識等損傷				

事故発生状況



- ・機側装置取付を行うにあたり、建柱車の位置Aがカメラポールが障害となることが判明し、B地点に変更した。(現場にて協議)
- ・オペレータは建柱車のフックが、作業員および機側装置に接触することを回避するために、合図者の指示が無いまま自己判断で建柱車のブームを起し、縮めながら旋回する操作を行った際に、ブームが街路灯引き込み線に接触し、損傷した。

【事故発生原因】

- ・架空線に対する安全対策不足など

【事故防止のポイント】

- ・現地状況をよく確認し、三角旗の設置などを行い、作業員へ注意喚起を徹底する(必要に応じ防護カバーを設置)など